Brivo CT385 GS

コンパクト&スマート 16列32スライスCT　再生製品

Smart Position

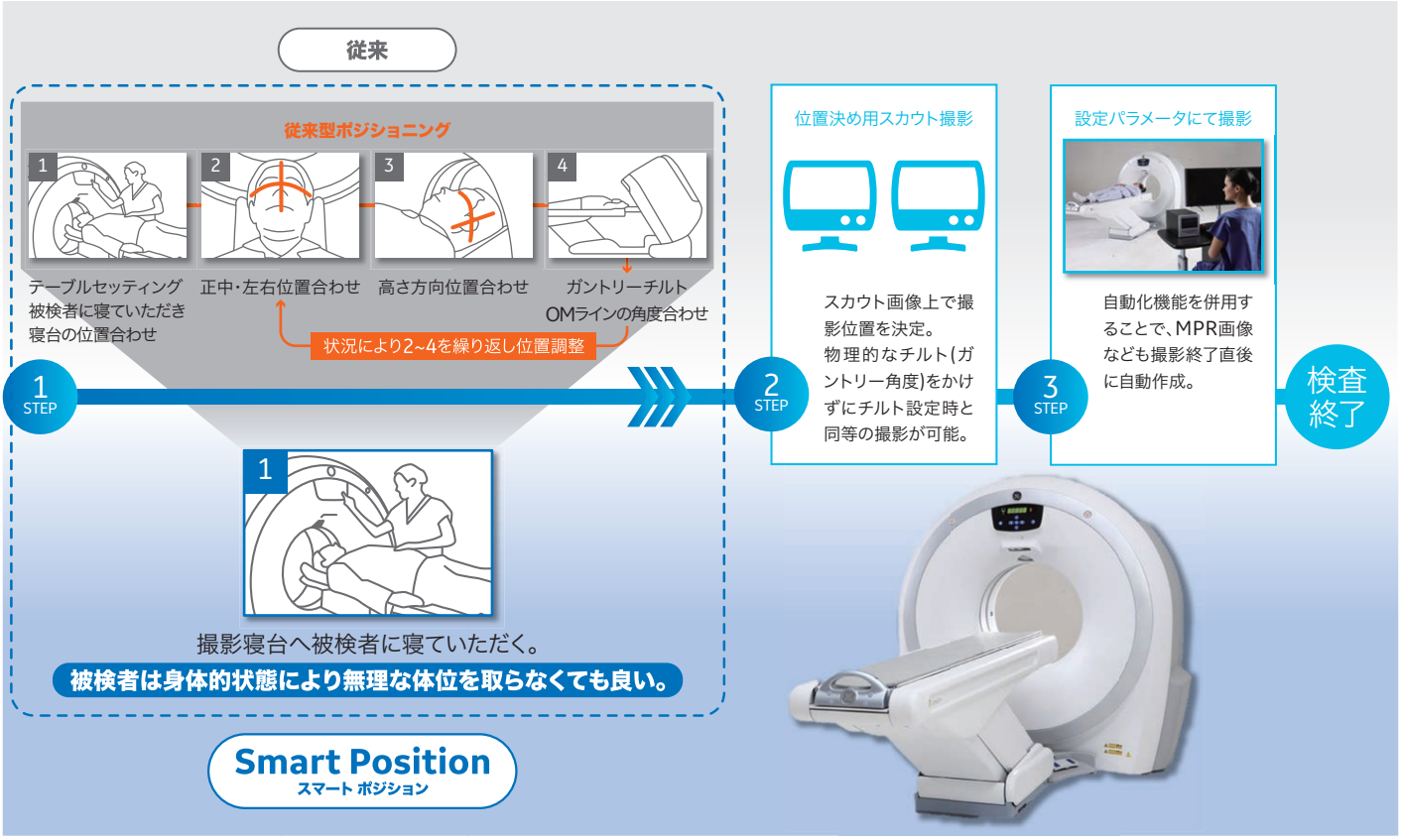
Smart Scan

Smart Imaging



Smart Position:スマート ポジション

スキャン後にOMラインに変換された画像を自動構築する※ことにより、これまでのガントリーチルト操作は不要となり、CT操作の熟練度合に左右されない簡単でスピーディな検査をご提供します。患者さまの拘束時間を短縮し身体的負担を軽減します。
また、検査のワークフロー向上へ貢献します。

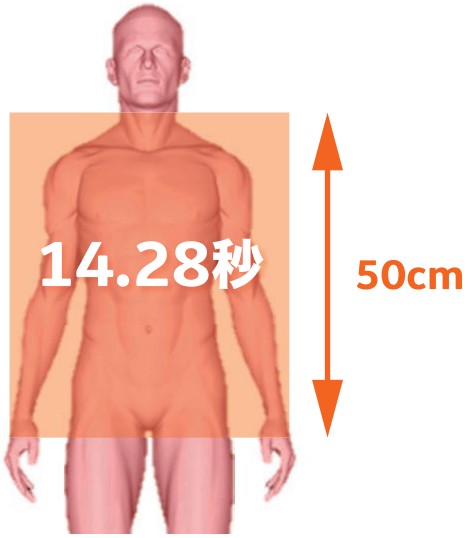


※デジタルチルト機能は、スカウト画像の骨構造を読取り、OMラインに沿った角度の画像を再構成します。

Smart Scan:スマート スキャン

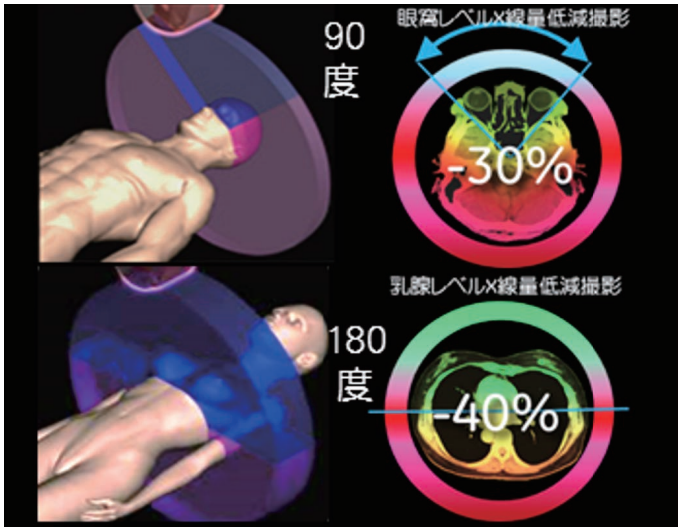
高速撮影&薄いスライス厚出力

16列CTのメリットである、高速撮影&薄いスライス厚での撮影を実現しました。
ハイヘリカルピッチ(1.75:1)を実臨床でご使用いただけます。体幹部は約15秒、胸部は約8秒で撮影します。
患者さまの身体的負担を軽減します。



ODM:Organ Dose Modulation

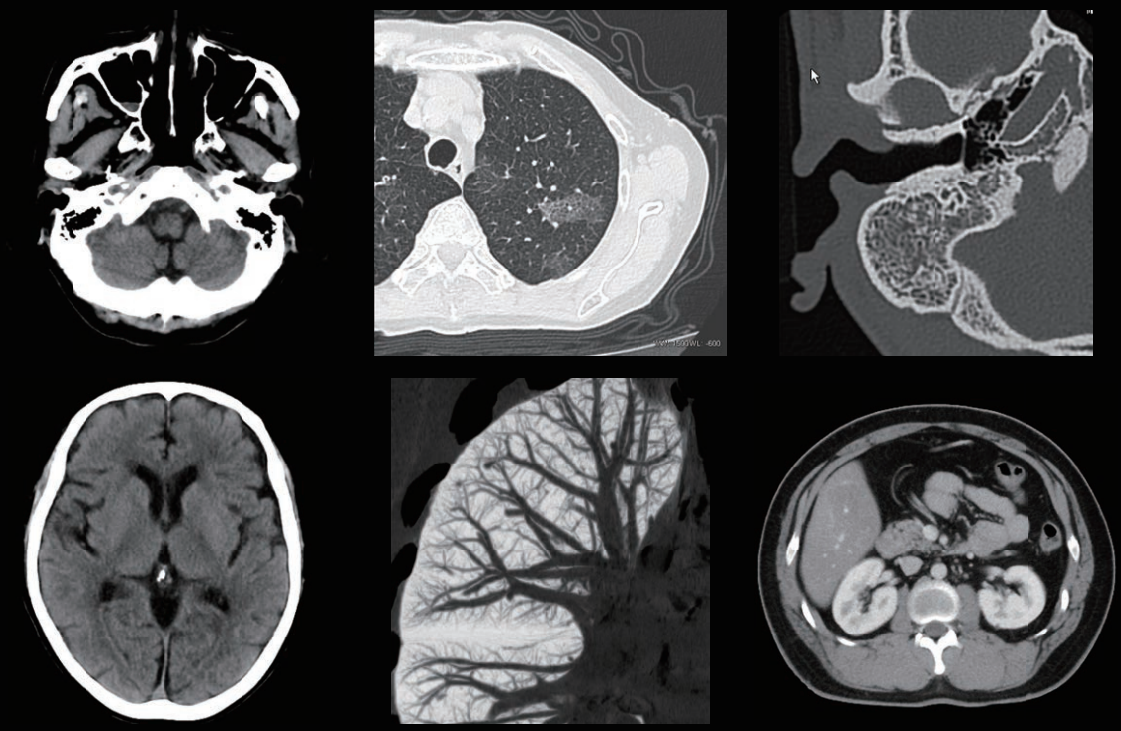
ODMは水晶体、甲状腺、乳腺などの高感受性臓器に対し、選択的に線量を下げる機能です。
ヘリカルピッチやローテーションスピードに伴う制約も無いため、より放射線感受性が高い小児も含め多くの患者さまに有用です。



Smart Imaging:スマート イメージング

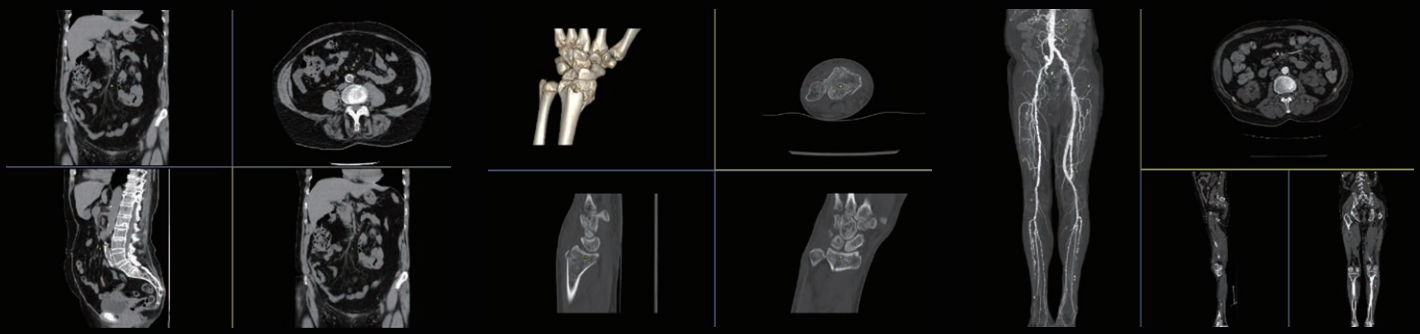
CViR:Clear View Image Reconstruction

画像を鮮鋭化しながら、アーチファクト抑制とノイズ低減を行い、クリアな画像を出力します。



簡易ワークステーション:Volume Viewer

3D作成プロトコルをカスタマイズ可能、ご施設に合った使い方でご使用いただけます。



MPR Reformat

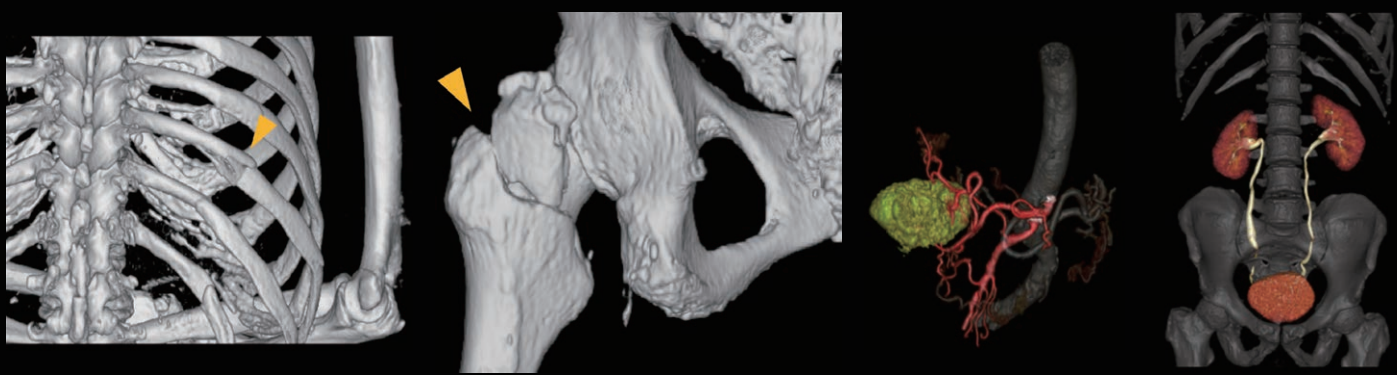
- サジタルやコロナル作成
- その他オブリーク画像作成

Volume Rendering

- ベーシックな3Dおよび2D作成

AutoBone Xpress

- 自動骨外し機能

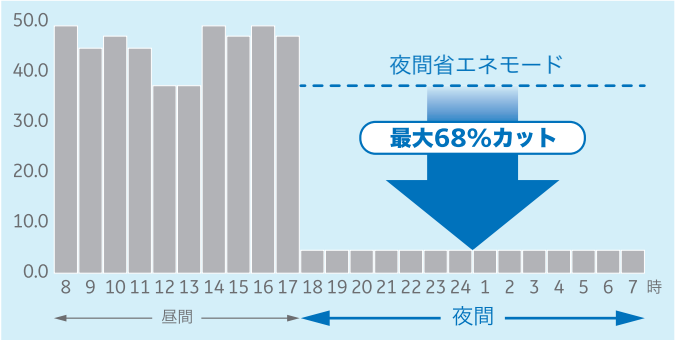


様々な部位の3Dを作成可能。立体的表現のため360°方向から観察可能です。

Energy Saving Mode:夜間帯の消費電力削減機能

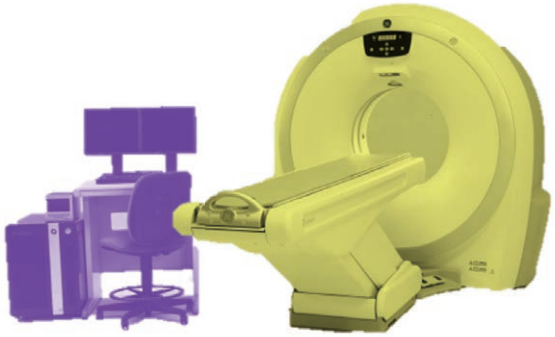
夜間や休日など装置を使わない日時の消費電力を節電設定可能です。

例えば、夜間帯に省エネモードを設定いただくと24時間スタンバイ状態時と比較すると、最大68%(※当社従来比)の消費電力削減になります。



従来

CT本体側の電力は**消費されています**



Energy Saving Mode

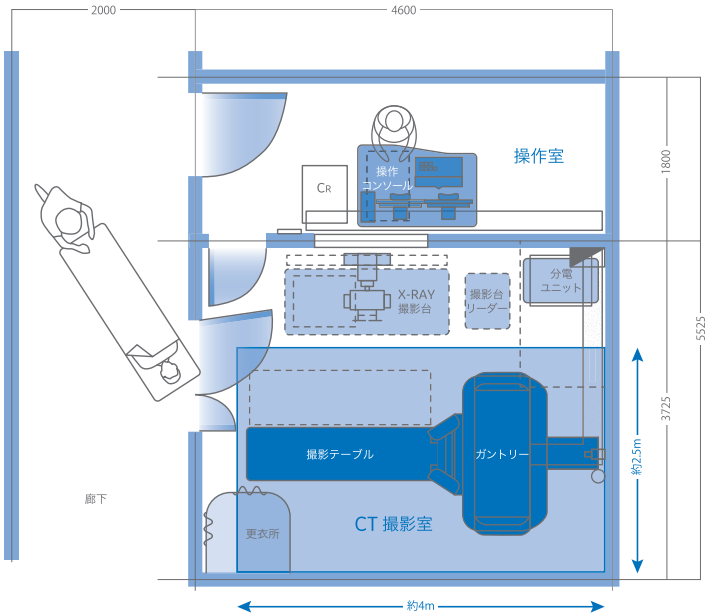
CT本体側の**電力消費を抑えます**



設置面積と電源容量

最小設置面積約10m² X線装置と同室設置も可能

設置スペースを新たに設けることなく、既存スペースを有効に生かせるコンパクト設計。16列CTでありながら、優れた機能を多く搭載しています。優れた省エネ性能搭載で経済面へも貢献します。



電源設備容量 30 kVA

電源設備容量 40 kVA

電源設備容量は2種類をご用意。
各ご施設に合わせて30kVAタイプまたは40kVAタイプを選択いただけます。(在庫状況により選択いただけない場合もございます)
小電源設備容量は、更新による電気設備費の増大を抑えることができるだけでなく、日々の運用コストを抑制し病院経営をサポートします。

製造販売　GEヘルスケア・ジャパン株式会社
販売名称 全身用X線CT診断装置 Brivo CT385
医療機器認証番号 228ACBZX00008000

DOC 1140966 / DOC1173719
JB60928JA / JB19095JA / JB28190JA